

いなみ

Vol.20
第20号

発行：令和7年
11月20日



来年も継続して開催され、井波の活性化につながればと期待しております。

名古屋からは「灯りアート」と「瑞泉寺ナイトミュージアム」を楽しむツアーが企画され、瑞泉寺の荘厳な空間での優美な踊りと木に生命を吹き込んだかのような井波彫刻に感動されておられました。

披露されました。

八日町通りを照らす「灯りアート」も開催され、井波木遣りの会による「木遣り踊り」と越中八尾おわら道場の皆様による「おわら踊り」の共演が披露されました。

町を美術館に見立ててアート作品を展示する「まちなみアートinいなみ」(井波地域づくり協議会後援)が9月13日・14日に瑞泉寺周辺で開催されました。

彫刻・書・生け花など趣向を凝らした作品約100点が瑞泉寺や八日町通りなどの商店や民家、寺院計67カ所に展示され、多数の来場者が「芸術の町・井波」を満喫されました。

まちなみアートinいなみ開催

ご長寿おめでとう

9月15日敬老の日にちなみ、井波地区で75歳以上の高齢者や米寿(昭和12年4月1日から13年3月31日生れ)の方に、町内会のご協力により、敬老品をお配りしました。

地区公民館に集い、敬老会を開催した町内もあり、各々が楽しい時間を過ごしました。ご長寿を心からお慶び申し上げます。



令和7年度 敬老会対象者集計表

町内名	米寿	敬老者数
八日町	—	28
上新町	—	23
中新町	1	18
下新町1区	3	30
下新町2区	2	73
下新町3区	2	33
山下	1	48
今町1区	1	17
今町2区	2	29
今町3区	4	89
今町4区	3	40
栄町	6	55
末広町	—	32
木崎野町	1	62
東町	3	45
北川	—	43
六日町	—	15
松島	1	25
藤橋	—	31
三日町	—	11
畑方	—	15
山見町並	1	35
五領島	—	7
上山見	6	86
下山見	1	70
京願	0	10
合計	38	970

井波地区の人口と世帯数の推移

△印：減少

	R7.10月末 現在	R6.10月末 現在	増 減
人口	3,920人	3,998人	△ 78人
男性	1,849人	1,883人	△ 34人
女性	2,071人	2,115人	△ 44人
世帯数	1,689世帯	1,687世帯	2世帯

発行：井波地域づくり協議会 〒932-0231 南砺市山見1739-2「アスモ」2F
Tel/Fax 0763-82-3744 Email: inami.kmn@gmail.com ホームページ: <https://inami-kc.7104.info/>

登録してみよう

いなみの情報をますます便利に! 電子回覧板アプリ 無料!

イベントや新店舗の情報配信中!

非常時には安否確認ツールとして活用

町内会 市民 行政 民間

「結ネット」で回覧板&まちの情報配信スタート!

行政の情報のほか、まちの新しいお店、市報、イベント等を広く情報提供しています。
「結ネット」でいつでもどこでもまちの情報を受けとれます。

イベントお知らせ 新店舗情報 災害時安否確認 各戸配布物 市報 など

お問い合わせ 井波地域づくり協議会 ☎0763-82-3744

12月～3月の行事予定

12月 6日(土) クリスマス会:きぼりっこ

13日(土) 青色防犯パトロール(28日まで)

R8. 1月 2日(金) 新年祝賀会

4日(日) 消防出初式・防火祈願

11日(日) 南砺市二十歳の集い

12日(月・祝) 左義長

23日(金) 元気塾(1/30、2/6・13・20)

31日(土) 競書大会表彰式

3月 20日(金) 広報いなみ 第21号発行

※都合により中止又は変更する場合があります。

井波彫刻と綿貫家3代

井波文化資源フォーラム会員

長谷川 総一郎

井波彫刻は約250年前に天神様や獅子頭などの祭り彫刻や墓股彫刻などの社寺彫刻から始まっています。その後、欄間彫刻が多くなりますが、戦後のライフスタイルの変化や近年の少子化は需要減をまねき、これに代わる製品も求められてきました。

約百年も前にこの問題を自覚した人が綿貫栄氏（以下、敬称略）でした。栄は井波彫刻の技を認めつつ未来は意匠（今のデザイン）が大切な時代となることを感じたようです。そのために井波商工学校設立を思い描き、意匠に強い若い先生を求めました。大正時代の初年頃は世界恐慌が吹き荒れ高学歴者にも職がありませんでした。

そんな時代状況の中、栄は東京で板橋政義（戦後は一步と名のる）の知遇を得て彼を井波に迎えることを固めました。板橋は鹿児島県生まれで東京高等工芸学校図案科卒。就職難で腰かけとしてデパートに勤め、何れ旧制中学校の美術教師になって趣味に絵を描き続けていこうと思っていました。

ところが昭和9年、降り立った旧井波駅に迎えに来た彫刻師の幹部であった堀香斧と横山白汀から強い刺激を受け彫刻家になろうと決意

しています。板

橋は塑像技術を永原廣に学び、戦後は中学や高校に勤めながら展覧会に出品し、井波彫刻伝統産業会館の初代館長となり、彫刻師に多大な影響を与えました。

綿貫栄の婿・佐

民も井波彫刻に大きな貢献をなしています。大正時代に今の彫刻組合の前身である彫工会が設立され、井波彫刻では社寺からの注文が徐々に増え、彫刻師共同での制作が多くなり組織化の必要性に迫られていました。昭和17年には富山県木彫刻工業組合が創立され、佐民は理事長に就き、井波彫刻と県とのパイプを強化しています。

佐民の子・綿貫民輔も陰に陽に井波彫刻の発展を長年にわたり援助しています。特に、昭和54年設立の井波彫刻伝統産業会館は彫刻師によ



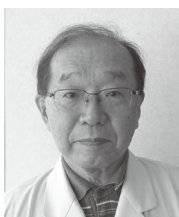
綿貫民輔氏の銅像

る出資金を元とする念願の彫刻センターでしたが、民輔は国政レベルでの誘致決定を推しています。

3代にわたる綿貫家の井波彫刻への要点を突いた支援のお陰で250年間続いた井波地域の文化産業の核として成長するばかりか、今や世界から熱い眼差しが向けられています。

受賞おめでとうございます

●南砺市功勞表彰 令和7年11月7日（金）



山本 武夫さん（上山見）
歯科保健推進協議会委員として保健衛生に寄与されました。



森川さんは「井波彫刻に興味があった。日本遺産井波や、南砺市の豊かな文化の魅力国内外に発信したい」と意気込みを語ってくれました。

地域おこし協力隊 井波地域担当に森川さん着任

11月4日（火）、地域おこし協力隊として森川友加里さんが着任されました。

森川さんは「井波彫刻に興味があった。日本遺産井波や、南砺市の豊かな文化の魅力国内外に発信したい」と意気込みを語ってくれました。

「いなみ講」を開催しました 地域づくり部会

10月5日（日）、井波社会福祉センター3階大ホールにおきまして、今年度第1回目いなみ講を行いました。

「いなみ講」とは、これからの井波地域における活性化や地域づくりの諸課題について、井波地域づくり協議会の会員をはじめ、地域の皆さんとご一緒に、いろいろと意見交換をさせていただきながら、明るい地域づくりに役立ててま

いりたいと、昨年企画実現をさせていただきました「話し合いの場」です。

まず最初に、井波地域づくり協議会のまちづくり部会副部長より会員の皆さんと繋がる「情報ツール」として「結ネット」の加入促進と、協議会独自のWEBサイト「井波時間」についてのお知らせをしました。



続いて、話題・情報提供として、ジソウラボ代表理事の島田優平さんから、「日本遺産の今とこれから」と題して、ジソウラボの取組みについて、また、イナミライデザイン代表小西正明さんより「旧庁舎跡地・井波児童公園とその周辺地域の一体的デザイン」と題して、現在計画中の旧井波庁舎跡地児童公園利用の計画概要を説明されました。

さらに、ラウンドミーティング（小グループ意見交換）形式でご来場の70名の皆さんが5グループに分かれ、それぞれ公園計画についての意見をいただきました。主要な意見として



- ・子供から高齢者まで誰でも利用できる計画を！
- ・防災を意識した計画がいいのでは
- ・井波の公園が良くなっていけば、輪が広がり南砺市全体が良くなっていくと思う

◎皆さんと地域の課題を共有し、共に解決できるように知恵を出し合いましょう。

「全国自治振興会大会」に参加しました

10月23日（木）、富山市の富山国際会議場におきまして「全国自治会連合会富山県大会」が開催され、井波地域づくり協議会 三谷直樹会長が富山県の代表として、来場者700人を前に、事例発表を行いました。

主な内容は次とおりです

タイトル「次代へ繋ぐ地域づくり活動」

（一）ピンチの到来

井波地区は2004年11月1日に、平成の大合併で4町4村が合併し、南砺市が誕生したがさまざまな課題が発生した

- ・少子高齢化
- ・住民ニーズの多様化

山積する地域の課題は行政だけでは解決できない

（二）チャンスに変えるために

- 1 地域づくり協議会の設立
- 2 日本遺産認定
- 3 未来像の提示・共有

（井波ビジョン2040）

4 地域課題への様々な実践

- ① つながる手法（フレンズ法、伴走法など）
- ② まざりあう手法（ワーク ショップなど）
- ③ 繋ぐ手法（結ネットなど）

これからも、子どもから高齢者の方でも安心して暮らせるまちを目指し、協議会活動を続けたいと思います。



「救命救急講習会」を開催しました

安全・安心部会

10月15日(水)、南砺消防署東分署と南砺市レディ分団の協力を受け、救命救急を体験しました。約40人の参加のもと、まず最初に「脳に血液を送る心臓マッサージが一番必要です」と講師の説明がありました。次に4班に分け、人形を使った心臓マッサージやAED装着体験をしました。心臓マッサージは1分間に110回を2分間行い、相手の反応を見てマッサージを繰り返す、その間に119番通報(救急)とAEDをセットしAEDの音声指示により使用する内容でした。心臓のマッサージの2分間は大変な運動量でした。地区住民の訓練参加と体験が重要と実感しました。



「井波地区でAEDの設置されている施設一覧」

- ◆南砺市民病院
- ◆地域包括ケアセンター
- ◆南砺市井波小学校
- ◆南砺市立井波中学校
- ◆DAIKEN(株) 井波工場
- ◆南砺消防署東分署
- ◆いなみ交流館ラ・フォーレ
- ◆キョーリンリメディアオ(株)
- ◆南砺市井波市民センター
- ◆南砺市井波社会福祉センター
- ◆南砺市井波総合文化センター
- ◆南砺市井波社会体育館
- ◆認定こども園井波にじいる保育園
- ◆養護老人ホーム楽寿荘
- ◆特別養護老人ホームいなみ
- ◆ニチケアサービス山見
- ◆道の駅井波 木彫りの里
- ◆井波コミュニティプラザアスモ など



★「AEDを使えばたすかる命もある」

みなさんご確認をお願いします。

★来年度は、南砺市総合防災訓練が井波地域で開催されます。

俳句教室

いなみウィーキング会句会 久保 美智子

6月26日(木)、井波小学校四年生と俳句教室をしました。当日、夏野菜や花を持ち寄ってもらい、それを句材に俳句を作りました。

俳句には自分の五感(見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れる)を活かし、身近な生活や周りの景色を詠みます。梅の実を嗅いで桃の匂いがあると共感する子。胡瓜をかじってみる子。じゃが芋を自分で掘った子の句には働く実感がありました。家族の方、中でもおじいさんの協力が目に見えて、楽しい句ができました。

優秀作品

うめなのにももにおいがすぐする 篠原 惟織
 じゃがいもは朝にとれたよ日がきれい 吉田 翠杜
 たけのこをじいちゃんとしたざつらざら 飯田 優成
 オクラにはさらさらの毛がたくさんだ 上野 理玖
 うめの実はモモのにおいで短い毛 久保慶太郎
 なつやさい 太陽あびて ひかってる 小橋 紋登
 じいちゃんがにわでそだてたジャガイモだ 若松 寛人
 みずっぱい トウモロコシのてっぺんが 野中 政希
 ざらざら葉 カッコウアザミが きれいだな 土田 翔天
 のびすぎた かぼちゃのつるが はみだした 山崎 璃乃
 朝早くじゃがいもをほりつかれたな 斉藤 光明
 きゅうりさわるとイボイボがでこぼこだ 金戸 麻紘
 しやしやしき きゅうりかじると音がなる 藤崎 裕成
 うめのみをちよつかじったすっぱいな 鶴見 龍心
 手にのせるきいろいうめがすべすべだ 高木 太玖

【まちの話題】

蓮如上人井波御下向五五〇周年記念 御影道中

2025年は、1475年に蓮如上人が、吉崎御坊より井波瑞泉寺へ御下向されて550周年となります。

京都・吉崎間で毎年行われている「蓮如上人御影道中」にならない、「御影道中瑞泉寺実行



委員会」(委員長 島田勝由)が組織され、吉崎別院と井波別院との間で、蓮如上人の御影にお仕えし、お運びする「蓮如上人井波御下向550周年記念御影道中」が開催されました。

御影道中は、9月27日吉崎別院を御出立され、10月1日井波別院瑞泉寺に御下向され、10月7日に吉崎別院に御帰山まで、移動距離往復270キロ・富山石川の寺院や蓮如上人の旧跡など約70箇所にお立ち寄りされました。



お運びされた蓮如上人の御影は、2024年の能登半島地震で被災された、珠洲市の西勝寺に伝わる、裏書には蓮如上人の花押が確認できる御寿像であり

マレットゴルフ敬老大会開催

9月21日(水) 文化・スポーツ部会

健康維持、仲間の親睦、技街向上を目的に、昭和56年、高瀬遺跡で「マレットゴルフ」がスタートし、以後「井波マレットゴルフ協会」が設立されました。「井波地区にもマレットゴルフ場が欲しい。」との要望を受け「向野マレットゴルフ場」が設立され、この大会が始まりました。(今年で37年目)



年々会員の高齢化進み退会者も多くなり、協会の維持管理や大会運営も厳しい中の開催でありましたが、南砺市スポーツ協会をはじめ各方面の協賛を受けて実施できました。

〈大会結果〉

〈男子成績〉 スコア
 優勝 藤川四郎(120)
 次勝 松井精一(130)
 参勝 高戸収次(136)

〈女子成績〉 スコア
 中嶋 静(129)
 高戸きみ子(130)
 松井喜代美(136)



ます。能登の人々のために描かれた御影をお運びすることで、被災地の復興に微力を尽くしたいとの願のもとお運びされました。

10月1日に井波別院瑞泉寺に御影道中が到着されると、集まった多数の人々が長い列をつくって一緒に歩かれ、沿道の住民が手を合わせて念仏を唱えられました。3日に瑞泉寺を出発され、御帰山の際には、田中南砺市長・武田富山県議会議員も御輿を担がれお見送りをされ、7日には無事に吉崎別院着かれ、御帰山式が営まれました。御影道中は、本願寺中興の祖とされた蓮如上人と瑞泉寺との繋がりを再確認させられた歴史街道中でもありました。

